

静岡市清水区感染症発生動向

2014年 34週

集計期間 8/18-24

	-6M	6-12M	1Y	2Y	3Y	4Y	5Y	6Y	7Y	8Y	9Y	10-14Y	15-19Y	20Y-
RS感染症														
咽頭結膜熱			1	1										2
溶連菌感染症		2		3	1	1	1					2		8
感染性胃腸炎		1		1	1	1				1		1		6
水痘				1										1
手足口病														
伝染性紅斑							1							1
突発性発疹			3											3
百日咳		1												1
ヘルパンギーナ	2	1	8	6	1		2	1		2	1	2		26
流行性耳下腺炎	1			3		1								5
麻疹														
風疹														
マイコプラズマ														
髄膜炎														
MCLS														
小児科Flu														
					小児科定点総数 53		増減 -37		前週比	58.9%		定点当たり 8.8		
									病院:開業医 6:47			増減 +1:-38		
内科Flu														
					インフルエンザ総数		増減 0		前週比	?		定点当たり		
									小児科:内科 0:0			増減 0:0		

総数53、前週の58.9%と激減です。

これは、夏期休業で診療日数の少ない定点があった事も影響していると考えられます。

1週間、休診の定点もあり、今回は、5定点からの報告です。

首位は、ヘルパンギーナ、前週比153%、定点当たり5.2と倍増近い増加です。

2位は、溶連菌感染症、前週比240%、定点当たり1.6と、倍増以上です。

3位は、感染性胃腸炎、前週比16%、定点当たり1.2と、激減です。

以下は、全て、定点当たり1以下で少数ですが、

流行性耳下腺炎5名、咽頭結膜熱2名、報告があります。

水痘と伝染性紅斑が1名ずつ、乳児の百日咳1名に要注意です。

手足口病、0名になりました。